

國の上は、之等の點に御力添下さいまして、日滿鐵鋼國策の爲、惹いては東亞新秩序建設事業完成の爲に一層の御支授を賜らんことを切望致す次第であります。

本夕は御多用中の所、斯く多數御出席下さいまして洵に有難く存じます。何の風情も御座いませんが、御ゆるりと御寛ぎの上、色々御高説などを伺はせて頂きますれば幸に存じます。

齋藤會長謝辭 (要旨)

只今は鮎川總裁より御鄭重なる御挨拶に接し洵に恐縮に存じます。此の度日本鐵鋼協會並に滿洲冶金學會が滿洲に於きまして大會を開催するに當りましては、鮎川總裁には御多用中にも拘らず實行委員長を御引受け下され、また御關係なきつて居られる昭和製鋼所に於ては小日山理事長、久保田常務理事、梅根理事の方々が中心となつて本大會の爲に御盡力下さいました。御蔭を以て諸事行き届き、非常な盛況の裡に大會を進めることが出来ましたことは衷心感謝に堪へざる處であり、實行委員長以下各位の御配慮に對して、一同に代り滿腔の敬意と謝意を表するものであります。

擬私共は去る 19 日大連に上陸致しまして以來本日迄大連、鞍山、弓長嶺、奉天、撫順の各地を見學、奉天に於ては聯合講演大會、通俗講演會を催したのであります。其の経過を委員長に御報告申し上げることは我々の義務であると考へます(と當日迄の経過を詳細に述べらる)明日は各自自由行動に依り新京を見學し、2 班に分れまして 1 班は清津、茂山へ、1 班は本溪湖より朝鮮の兼二浦へ廻つて解散する豫定になつて居ります。

斯うして私共は各地を見學致しまして、滿洲工業界の素晴らしい躍進振りを見、且量的にも質的にも豊富な鐵鑛資源を有する實情を充分認識するを得ましたことを喜ぶと共に、之が開発されました將來に對して非常な心強さを覺へるものであります。只今はまた色々御希望をうかがひましたが、内地へ歸りました曉には、御期待に副ふ様努力致したいと考へて居ります。

本日は斯くも盛大なる席に御招きに預りまして洵に有難く厚く御禮申上ます。御言葉に甘へまして充分頂戴致し度いと存じます。

支那芝居の語

實行委員長から今唱つた歌の説明をせよとのお話がありましたので簡単に申し上げます。

只今唱つたのは支那の歌舞伎のやうなものであるでありますから、先づ一應其の方から説明することに致します。元來支那芝居には崑曲、秦腔、皮簧等の派別があるのであります。現在最も普遍的に行はれて居るのは皮簧であります。之は西皮、二簧、反二簧等と總稱した歌調でありまして北京を中心に廣く全國に行はれて居りますところから 1 名京劇とも云つて居るのであります。

此の芝居の大體の構成は唱、做、白に別れて居りまして、唱は歌詞を各種の節で組合せ唱ふのであります。白とは臺詞のことで做とは仕種のことですが之は極めて簡単なもので約束に従つて種々の場合を表示するのであります。例へば両手で戸を開ける所作をして右足を挙げれば門内に入った意であり、鞭を振り乍ら歩けば馬に乗つたつもりであります。

舞臺装置も本來は殆ど何もないので、机、椅子位が主要小道具と申しても差支へないのであります。例へば机の上に椅子を乗せそれに人が上れば高所から眺望して居る意になるのであります。而し乍ら梅蘭芳が生まれてから大變化を來し舞臺は非常に美しいものとな

りました。

樂器は勿論胡弓が主で之には胡琴と二胡子の 2 があります。前者は高音で後者は低音であります。胡弓は歌に合はずと云ふよりむしろ指導する位で實に大切なものであります。其の他蛇皮絃、椰子、鼓及び鉦、笛、喇叭等の如きものもあつてあります。

演者は普通 生、旦、淨、末、丑に 5 大別されて居ますが之を更に次の如く分つてあります。

1. 生……おとこ役でありますが大體正しい人に扮する役柄であります。
 - (イ) 老生……立役で正生とも云ひ中年以上の正しい男性に扮し唱を主とするものであります。鬚をつけて出ますので鬚生とも云ひます。
 - (ロ) 小生……老生と大體同じでありますが齡若の役に扮するものであります。
 - (ハ) 武生……立廻りを主とする老生と思へば大差がないのであります。
 2. 旦……女形であります。
 - (イ) 正旦……青衣とも云ひ正生に對する立女形であります。貞女、節婦、烈女等に扮し唱を主とするものであります。
 - (ロ) 花旦……淫婦、毒婦に扮する役で白と做を主とするのであります。
- 其の他にも花衫、武旦、老旦等があります。
3. 淨……顔に隈取をして出るところから花臉とも云ひまして極めて男性的な役柄を演ずるのであります。扮する人物には種々ありますが大體正淨、副淨、武淨に分けて居ます。
 4. 末……端役であります。
 5. 丑……道化役であります。之にも文丑と武丑の區別があります。

以上で皮簧の極めて簡単な説明を終つたのであります。本夕は以上の内老生劇として有名な空城計と八義圖及び青衣劇として有名な汾河灣の各 1 節を歌つたのであります。使用した樂器は胡琴、二胡子、蛇皮絃等であります。

終に演者自身で小大鼓を叩き乍ら歌ひましたがあれは大鼓と云ひまして日本の浪曲とでも申す可きものでありまして題は指日高陞でありました。使用した樂器は蛇皮絃、小大鼓、板兒等でありました。

尙演者は總べて新京に於ける滿洲の藝者であります。

(滿洲重工業開發株式會社 庶務課秘書係 白石吉男)

VII. 出席會員の所感

感 想 荒 木 宏

奉天の公開講演會に於ける昭和製鋼所の小日山理事長の演説は聴衆に深い印象を與えた様だつた。滿洲國に於ける鐵鑛や石炭の埋藏量が調べるに従つて莫大なものになりつつあること、昭和製鋼所はこれらの資源を利用して豊富にしかも低コストの製鐵をする大使命を持つて居ることを明かにせられたが、第 5 期第 6 期の擴張計畫が實現すると同製鋼所は現在世界第 1 の大製鐵所と稱するグリー工場を凌駕する様になるのであると云はれたのは人意を強うするものがあつた。それから鐵鑛や石炭の貧弱な内地に熔鑛爐を増設するのは間違いであると云ふことを強調せられたが、これは現下各方面に起りつつある高爐計畫で鐵石や石炭の手當も確實でない様なものに對しては確に頂門の一針であると思ふ。しかし内地だとて萬更棄

てたものではなく、東北の某地には数億トンに上るすばらしい無煙炭田のあることが分つたと云ふし、又某地には吾人の想像に絶する多量の鐵鑛埋藏があると云ふことも聞く、これらの活用とか或は別の方法でもよいが内地に於て滿洲より安い鐵がつくれぬとは限るまい、これは一に鐵鋼協會々員今後の努力に待つべきものとする。

滿鮮を旅して

菊池 麟平

滿鮮各地にあつて生産報國の第一線で働いてをられる同胞各位の眞摯な姿を見た時、そして一例には過ぎないが滿鐵 1 萬 km 完成の日までの殉職者が約 1 萬を算すると聞いた時、私は

明治天皇の次の 2 つの御製を奉讀して深い感銘を覺えた。

をちこちにおかれすみても國を思ふ人の心ぞひとつなりける

國をおもふみちにふたつはなかりけり軍の場にたつもたたぬも
鐵鋼方面の視察旅行の收穫を平面的に整理してみると、日本が鐵鑛と原料鐵(スクラップをも含む)の不足に足掻いてをる姿を如實に見、その結果が各地各様式の貧鑛處理法となり、直接製鐵法となつて、前記資源不足の解決へと勇ましく乗り出してをるのである。貧鑛處理と直接製鐵法とはその目的とする所は異つてゐるが、結果論的に見て相一致してゐる場合もある。次表に最近我が國に於て實施され始めた製鐵法を列記する。貧鑛處理であるものもあり、富鑛のみに限られたものもあり、貧富兩鑛と兼ね得るものもあるが特に區別しない。又製品の品位純度等にも差異があり、操作の難易、生産費の高低、設備費の高低等々種々批判比較すべき點はあるが、寧ろこれ等の検討は今後の問題となるべきものであり、その問題の解決に當つての當事者當局者の執る可き態度によつて始めて日本が或ひは興亞プロックが鐵鑛と原料鐵との自給自足に成功し得るのである。

廻轉爐法	クルップ法	バツセー法	日下法	水素還元法
大華鑛業法	本溪湖法	電氣爐法	電氣分解法	
古式法	電擊法			

(この場合鞍山又は清津日鐵におけるような鑛石の濃縮法は載せなかつた)。

以上

滿鮮を旅行して

絹川 武良司

先般日本鐵鋼協會の奉天に於ける講演大會に参加し滿洲、朝鮮等の工場視察を致しましたが前回の日本鐵鋼協會の時に比較して其發展の目覺しいのには全く驚きました。鞍山に於ける昭和製鋼所、其他の工場の躍進的發展、奉天鐵工諸工場、北鮮方面の諸工場等の發展振りは内地で中々見られない素晴らしいものがありました。新京の都市計畫等も感心させられた一つです。

扱てそれ等の素晴らしい發展振りを見て感じさせられた一つに新しい方法の上に立てられた工場の幾かあります。それは平時ならば到底經濟的に成り立ち相もない工場(全工場の設備が全部新しい方法に立つてゐると言ふ譯では勿論ないが)が單に新しい方法であると言ふ丈で時局の波に乗つて設立せられてゐるかに見受けられたものが少なくなかつた。果して斯様なことでよいものであらうかと考へさせられました。勿論上にも述べた様に眞に新しい方法に立脚してゐる部分は全體の一部分であるから平時になつたら其部分丈棄てる覺悟であるのかも知れないが……

第 2 に考へさせられた點は、工場其他の計畫なり、運用なりを見るに果して祖國日本の爲めを眞に思ふて經營してゐられるであらうかと言ふことに多少疑をもたされるのです。結局“王道樂土”は滿洲人の爲めの“王道樂土”で、祖國日本は滿人を“王道樂土”に住はせる爲めに重大な負擔を荷はせられてゐるのではないかと考へさせられました。

してそれでよいものであらうか? と云ふ點であります。

單文、意を盡しませんが私と同様に感ぜられた方も少くないかと思ふ。そしてそれ等の方々ならば私の書いたこともわかつて頂けるかと思ふ。

滿洲見學の感想

小島 由之

斯界の御歴々の御伴をして本大會に参加した私が先づ目指した點は滿洲へ進出した中小工業者が現在如何に發展して居るか、乃至は現在鐵鋼配給統制に依つて製産制限を慨きつゝある内地中小鐵工業者の滿洲轉出に對して現地が如何なる地歩を與へて呉れるかと言ふ期待でありました、然しながら鞍山、奉天と見學スケジュールが進み二三現地の人の話を聞くに及んで此れはどれも諦めなければならぬ物かと言ふ事を悟つたのであります。

即ち各大工場は餘りに一貫作業設備が整ひ過ぎて居て新に其の手足となつて働く可き付帯工場を育成す可き必要を感じなくなつて居る、一方材料鐵鋼の方は内地と大差無く國策の線に順應した統制が徹底して居る。内地で行詰つた業者は此處でも伸びる途が無いと言ふ譯であつた。自分の期待に見切りを付けた私の目に映つた。滿洲の要求して居る物としてはどうも鐵鋼關係では面白くない。切實に體驗した旅館拂底から見て今後益々増加を豫想される旅行者乃至新任して來る人々の爲に旅館やアパートをドンドン供給する必要が有ると思はれる。設備は何も華美を要しないが清新な氣分を與へる物でなくてはならない。又多數の産業戰士に明朗高尚な娛樂機關を供給する必要が有る。家族的な慰安設備がドンドン造られなくては行けないと感じられた。

此等が結極間接に各大工場へ奉仕する途にも通じるのだと矢張り身分相應な認識を得た心算で居ります。「此れから一二年の間なら聞く人に迷惑も及ぼすまい」と折に觸れて廣告致します。大昭和製鋼所の遠大な計畫。扱は撫順、清津の驚異的治績等々に至つては只々有難くて頭を下げて置くより仕様のない次第でした。此う言ふ私等に迄萬端御懇切に御世話下さつた現地役員諸彦。特に昭和製鋼所の方々の御骨折りに對しては有難く厚く御禮を申し上げます。皆さんの御蔭で新興滿洲國の潑刺たる飛躍振りを見聞し曲りなりにも大陸經營の一端を覗ひ得ました事を感謝致して居ります。

滿洲に旅して

谷山 巖

此度滿洲に於ける鐵鋼協會に出席して先づ第 1 に感じたことは、皇軍の威力である。いやすめらぎの御稜威があまねく行き互つて居ることである。匪賊が横行したといふのも今は昔の語り草であつて、只鐵條網にその殘骸を止めて居るのみである。例へば弓張嶺の鐵山へ水盃を交はして探検に行つたとか、本溪湖の附近にて戦慄すべき事件が起つたとかいふことは遠い昔のやうな話に聞えるのである。これは偏へに君の御稜威によるものであるが、又幾多勇士の奮闘努力されし跡が偲ばれるものである。即ち旅順、沙河の大會戦は元より北大營や南嶺等の戦跡を訪れては尋き勇士の靈に對し自ら首が垂れるのである。實にこれら先人の偉業により帝國の生命線は確保せられたといふ感を強くしたのである。

次に滿洲には製鐵事業に適する諸原料が極めて豊富なる故に、製鐵業には最も恵れてゐるのである。既に鞍山、本溪湖等には大規模の製鐵事業があり、尙ほ現在擴張されつゝある故に、甚だ心強く感ぜられたのである。内地の銑鐵及び屑鐵を初めあらゆる材料の入手に血眼になつて騒いでゐるのにくらぶれば隔世の感があるのである。

然し滿洲は大陸の氣分に支配されて人間のスケールが大きい故